

第3回美里町農業振興審議会議事録（概要）

日時	令和元年5月29日（水）午前10時00分～11時45分
会場	美里町役場 2階201会議室
出席者	<農業振興審議会委員> 櫻沢 保、根本孝代、大島輝雄、小泉雄一、飯島 一、上田勝美、 渋井 清、田沼 晃、齋藤譲一、関根尚子、徳世保孝、野沢 進、 茂木清一、長谷川隆史（委員15名中、14名出席） <美里町> 町長 原田信次、 農林商工課 課長 木村利雄、副課長 丸山 保、主査 櫻沢文孝 総合政策課 参事兼課長 阿部泰久、副課長 萩原和幸、 主任 飯島美和 <業者> ランドブレイン株式会社 石村壽浩、和田駿哉、野沢 理
配布資料	・美里町農業振興審議会次第 ・地域活性化に向けた取組について ・地域住民による活性事例について
議事	1 開会 2 あいさつ 3 地域活性化に向けた取組に関する諮問 4 議事 （1）地域活性化に向けた取組について ・美里町を取り巻く機会、課題と住民ニーズ ・地域活性化施設の基本方針 ・施設の導入機能（ハード）及びまちづくり展開（ソフト） （2）その他 5 閉会
会議要旨	
1. 開会	
司会 (丸山副課長)	ただいまから美里町農業振興審議会を開催いたします。 開催にあたり、根本会長より挨拶をお願いいたします。
2. あいさつ	
根本会長	本日は第3回審議会にお集まりいただきありがとうございます。 地域活性化施設ということで、町民の方にもお話がいつているようで、 実現することに皆様期待しています。今後の町の将来に向けた大きな事 業の1つかと思います。皆様のお知恵をお借りしながら、より良い会議 となるよう、よろしくお願ひします。

<p>司 会 (丸山副課長)</p>	<p>続いて、原田町長より挨拶を申し上げます。</p>
<p>原田町長</p>	<p>第3回審議会ということで、本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。本日は諮問を私からさせていただきます。その前にこの事業への思いをお話しさせていただきます。</p> <p>この町のまちづくりを振り返ると、昭和50年代まで養蚕が盛んであったこともあり、町は農業振興の補助を得ながらまちづくりを進めてきました。補助金をもらうために、農振農用地にすることが大前提であり、町もほ場整備を積極的に行ってきました。そうした中、現在、まとまった農地は転用が難しい状況にあります。以前、農業振興とまちづくりを一緒に行う施策がありました。農水省や国土交通省の方で、転用可能な施策はたくさんありましたが、行わずにきました。今やろうとしても、乱開発を防ぐためにできない状況にあります。そうした中、今どうするかという視点に立った時、町のこれからの人口推計を見ると、2040年には人口が約4分の1、15歳以下は4割減、高齢化率は2015年比で7%増の予測です。これから健康長寿の時代に入り、税収は落ちてくるが社会保障費は増大することになります。また、昭和40～50年代に作った施設の老朽化、特に県営ほ場整備事業で作った排水路等の老朽化が顕著です。</p> <p>一方で、インターチェンジができ、これから町がどう生き残っていくのかを考えた時、農業を活かしながらどのように町を、経済を活性化していくのかということが課題であります。安心安全なもので、体験できるものに興味を示してくれる時代です。えごまは当初売れないかと思っておりましたが、作ってみると、獣害もなく、NHKの紹介によって円良田の販売所に人が来ています。このことを考えると、町全体で同じような仕掛けができるのではないかと考えています。</p> <p>高齢化が進む中、高齢者の人も農業、家庭菜園であればできます。動けさえすれば畑はできますので、自分で食べるものは自分で作ることができます。この町の将来を思うと、経済の循環、農地活用、健康づくりにもなる、外の人々もなんらかの形で町に関わり、さらに経済が循環する、活性化するような仕組みができると良いと考えています。</p> <p>「今だけ、ここだけ、あなただけ」という言葉が活性化の1つの言葉としてあります。これがキーポイントになります。併せて、いかにそれをPRするかが重要です。うまく外に発信する仕掛けと地域づくりに役立つ仕掛けがセットになればうまくいくのではないかと思います。成功するような仕組みを考えていくことが重要と考えています。10年20年後に、この計画があったから今の美里町があるのだと思えるよう、皆</p>

	<p>様の知見をお借りし、計画づくりができればと思います。</p> <p>令和3年の3月までに施設の計画作りが終わり、4月に農地転用を含めた手続きができるようなスケジュールで進めていきたいと考えています。土地は安いですから、大胆なやり方として、町が土地を買い、相乗効果を生み出すために企業を誘致してくるということも考えられます。</p> <p>より良いものができるよう、皆様のお知恵をお借りできればと思います。よろしく申し上げます。</p>
司会 (丸山副課長)	<p>次第の3に入る前に、今年度人事異動により事務局の職員が変わりましたので紹介をさせていただきます。</p> <p>阿部参事兼総合政策課長及び木村農林商工課長を紹介</p>
3. 地域活性化に向けた取組に関する諮問	
司会 (丸山副課長)	<p>次第の3、地域活性化に向けた取組に関する諮問に移ります。</p> <p>諮問の内容について、課長の木村から説明いたします。</p>
木村課長	<p>これまで2回の審議会を経て、今回諮問をさせていただきます。</p> <p>では、諮問内容を読み上げます。(別添諮問書のとおり)</p>
諮問書	<p>町長から根本会長へ諮問書を渡す。</p> <p>その後、各委員へ諮問書の写しを配布。</p>
司会 (丸山副課長)	<p>次に議事に入るわけですが、その前に皆様にご意見をいただきたいことがございます。先ほど、諮問させていただきましたが、これから議していただきたい内容につきまして、議事録を作成し、住民に対し公表することを検討しております。</p> <p>審議会設置条例の中には、公表の規定はございませんが、この事業は町にとって、とても大きな事業でございます。ホームページにおいて公表したいと考えておりますが、皆様のご意見をお伺いいたします。</p>
長谷川委員	<p>この会議の内容については、町の人にも知ってもらう必要があると思います。知ってもらうことで、町民の意見も出てくるのではないのでしょうか。そうした意見も受けることができれば、良いと思います。</p>
野沢委員	<p>提案したいことがあります。この下部組織でも良いが、高校生や20代等、若い人から町の将来像、意見を聞くのもいいのではないのでしょうか。可能であれば、検討していただきたい。</p>
木村課長	<p>先ほどのご意見については、この場で答えを出せることではありませんので、検討させていただきます。住民の皆さんの意見を聞く方法については今後検討し、この会で協議させていただきたいと思います。</p> <p>まずは議事録を公表することについてご意見をお願いします。</p>
根本会長	<p>皆さん、議事録の公表についてはよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承。</p>

司 会 (丸山副課長)	それでは議事を進行いたします。
4. 議事	
司 会 (丸山副課長)	審議会設置条例第6条第1項に基づき、「会議は、会長が招集し、その議長となる。」とありますので、今後の議事進行については根本会長にお願いします。
根本会長	それでは、しばらくの間ご協力をお願いします。 慎重審議よろしくをお願いします。
(1) 地域活性化に向けた取組について	
議長 (根本会長)	それでは、議題(1)地域活性化に向けた取組について、事務局説明をお願いします。
事務局 (櫻沢主査)	(1) 地域活性化に向けた取組について、説明申し上げます。 これから町を活性化するための基本方針や機能などの取組について審議委員の皆さんと検討してまいります。これまで、2回の会議を開催し、重複する内容もございますが、あらためて資料を基に説明させていただきます。 なお、ランドブレイン株式会社に説明させていただくことにご了解を頂きたいと思っております。ランドブレインさん、お願いします。
ランドブレイン (株)石村	それでは、地域活性化に向けた取組方針について説明します。 まず、美里町を取り巻く環境を「機会」と「特性と課題」に分けて整理しています。「機会」とはスマートインターの整備であり、広域利便性が大きく向上します。活性化施設整備にあたっては、インター利用者が利用したくなる機能整備が今後求められると考えています。また、新たな産業団地の形成による産業の発展もあり、産業団地には新規就業者300名程度が見込まれており、今後の町の発展の機会と捉えています。 次に、「特性と課題」を3つ挙げています。 1つ目は町の基本理念である「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」に向けた楽しみ、生きがいつくりの工夫の必要性が高まっていることです。人との繋がりや社会貢献などを通じた心の豊かさが重視されている中、町民がいかに主体的に動けるか、あるいはその仕組みづくりが非常に重要です。 2つ目は基幹産業である農業の発展に向けた取組の必要性です。基幹産業である農業を活かし、6次産業化、健康食の取組の推進が必要です。また、美里町には小規模な兼業農家が多く占めている中、兼業農家の所得の伸び悩みを安定させる仕組みづくりが必要となります。 3つ目は、自然・歴史資源の連携の強化です。美里町にはブルーベリー

一農園等の自然資源や歴史的な資源が点在しています。こうした町内に点在する資源で連携できる場を作ることが必要です。

次に住民ニーズについてご説明します。平成26年にワークショップを実施しており、拠点施設の方向性として5つのキーワードが導き出されています。1つ目が「町を体感する」、2つ目が「味覚を楽しむ」、3つ目が「交流する」、4つ目が「暮らしの拠点にする」、5つ目が「まちを知る」ことです。

2ページには想定される施設利用者を示しています。周辺住民による日常利用やゴルフ場帰りでの立ち寄り、産業団地からの立ち寄り、スマートインター利用者の立ち寄りニーズを考えています。

2ページ右には、町の機会や課題、住民ニーズや想定される施設利用者を踏まえた整備コンセプトを掲げています。これはたたき台案です。コンセプトとしては、「町民や来訪者の拠り所、町とともに成長する拠点づくり」、これが今後町に必要なようになってくると考えています。

2ページ下の「美×里」はサービスを展開していくにあたっての考え方であり、「里」は基幹産業である農業や町に点在する資源を意味しており、「里」の資源を最大限生かす場にしていく必要があると考えています。また、それだけではなくそこに「美」という付加価値を加えることで、農業や食という分野で、美里町ならではの「美」の付加価値をつけていくことが重要と考えます。

続いて、コンセプトを具体的に示したものが3ページです。

まずは町民や来訪者の拠り所となる場が必要と考えています。現在、町民が日々生活の中で集まる場や買い物に行く場、みんなが寄り合っって話をする場が少ない状況にあると感じています。そうした中においては、町民が日常の中で利用できることが必要です。また、町の情報や資源の拠り所として来訪者が町のことを知ったり体験したりできる場にしていく必要があると考えています。さらに、施設や取組への関与を促進することによって町民の生きがいづくりや健康づくりの拠り所となる場を目指していく必要があると考えています。さらに、町内の小規模農家が安全・安心な農畜産物を供給するだけでなく、加工や健康食を提供、営農の指導・販売等を含め実施していける場にする。そうした取組を通じて“町民の生きがいや健康づくりに寄与できる拠り所”の場にしていってはどうかと、考えています。

次に3ページ右側には、「町とともに成長する拠点づくり」について載せています。施設として成長する必要があると感じており、成長のためのシナリオを含め検討しています。まずは、地元住民、産業団地従業者、通過交通者等に利用していただき、日常利用を増やしていくことが

重要であると思っています。その中で小規模農家の地元の野菜や商品を販売し、スタッフや人材、商品を育ててさらに販売力をつけ、地産地消の仕組みや施設の経済的成長を育んでいく必要があります。さらに、他の資源との連携や町を回遊する仕掛けを作り、町全体が発展する拠点として成長できるような場にしていってはどうかと、考えています。

続いて4ページには施設の導入機能及びまちづくり展開案を記載しています。導入機能とはハード的なものです。住民のワークショップによるキーワードを踏まえた、考えられる機能を示しています。

道の駅として整備するためにトイレ、休憩所や案内所が必要となりますが、しっかりと町独自の施設にしていく必要がありますので、必要な機能についてご意見をいただければと思います。また、ハード的なものだけではなく、成長するという視点から、町内の連携による展開も考えていく必要があります。

1つ目の「施設を核とした回遊性向上戦略」については、地域資源を洗い出しながら、それらに回遊性を持たせるためのマップづくりなどを検討していきます。

2つ目の「商品確保戦略」については、ブルーベリーやえごまのような町ならではの特徴的な商品があるので、それらを確保して地産地消に繋げていくというものです。

3つ目の「ブランド創造・特産品開発戦略」については、現在ある商品にプラスアルファで、今後の発展を考えた新たなブランドを検討していくものです。

4つ目は「事業者との連携によるイベントプログラム」であり、活性化施設に広場を設けた時に、イベントや町内の活動に使える場を想定しています。事業者や町民の皆さんがどんなことができるのか、したいのか検討していきます。

5つ目は「町内ストックの有効活用戦略」についてで、周辺の遊休農地を活用した農業体験、空き家を活用した移住体験等、周辺の資源・ストックと連携を取っていくものです。

6つ目の「民間連携による拠点形成の戦略」は、拠点形成にあたって、町や町内の事業者だけでなく、うまく民間の力を使っていくことを検討する必要があります。

最後に「プロモーション戦略」についてですが、プロモーションにあたっては、NHKなどのメディアも巻き込みながら行っていくことを検討していきます。

現時点では施設作りのイメージを形にさせていただきましたが、住民や来訪者の拠り所となるための機能やまちづくりの活動について、ご意

	見をいただきたくよろしくお願いします。
議長 (根本会長)	今のご説明を受けて、質問や意見はありますか。
野沢委員	提案ですが、議題を区切って進める方針は考えられますか。議題ごとに意見を出すというやり方はいかがでしょうか。そうしなければ意見があちこちになってしまうのではないかと思います。
議長 (根本会長)	事務局側、どのように進めていくかについて提案はありますか。
ランドブレイン (株)石村	皆様の中で様々なイメージがあると思います。ただ、コンセプトは共有しながら、今日の中でまとまらないと思うが様々なご意見を伺いたいと思います。2ページ右側から3ページのコンセプトの部分について、まずご意見いただき、その後4ページの機能に対するご意見いただく形が望ましいと思います。
議長 (根本会長)	皆さんに意見を伺う前に、前回の会議では委員の皆さんに施設の必要性の有無を聞かせていただき、概ね「必要である」との意見をいただきました。しかし、議会の意見集約ができていませんでしたので、ここで4月10日の議会全員協議会の状況を説明させていただきたいと思いません。大島委員からお願いします。
大島委員	4月10日の全協で意見集約をさせていただきました。 活性化施設については、議員1人ひとりが期待を寄せている施設であり、美里町の核として欲しいとのことで、意見集約を行いました。
議長 (根本会長)	議会の意見を報告させていただきました。ありがとうございました。 では、ほかに意見はございますか。 具体的に議していただきたい内容について事務局から説明願います。
事務局 (飯島主任)	具体的に検討していただきたいのは諮問書の内容になります。野沢委員から進め方についてご意見いただきました。ランドブレインから話がありましたが、2ページ右側から3ページのコンセプトの部分についてまずご意見いただき、その後4ページの機能について、ご意見いただく形としたいと思います。 活性化施設は道の駅としての整備を考えています。ただ、農産物直売所をどうするのかという意見も取り上げられているが、直売所だけに限らず道の駅の中にどういった機能を備えたいか、ハード面をご検討いただくとともに、美里町だからできることをソフト面からも含めて自由なご意見をお聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。
ランドブレイン (株)石村	2～3ページ目について、町民の皆さんの拠り所となるならもう少しこういう場にした方がいいのではないかと、もっと違う方向で地域活性化

	を考えていった方がいいのではないか等、ご意見いただければと思います。
議長 (根本会長)	事務局、ランドブレインから説明がありました。これを受けまして、ご意見をお願いします。
小泉委員	お客さんが来るにはまず飲食施設が必要だと思います。どの程度の規模にしていくか。広場等でお客さんが家族で来て、家族同士で楽しめるバーベキュー、子どもと遊べる釣り堀、キャンプなどの施設もあれば良いかと思う。キャンプというと大げさかもしれないが、テントや車を置く場所などの施設もあると良いかと思います。
事務局 (木村課長)	規模については、実現可能性の観点から検討していきます。実際にできるかどうかはこれから判断していきます。利用者数を1日どのくらいと考えるか、機能を整備するにはいくらお金が必要か、スケジュールはどうか、などについては今後調べていきます。 本日の会では、まず活性化施設に期待する思いを伝えてもらえば良いと思います。こういった機能があると良いのではないかなどの意見をお願いします。
小泉委員	美里町近辺には飲食施設が少ない。地域住民がイベントで出かけても休みであったりします。藤岡の方の施設には色々、飲食する場があってお客さんが寄ってくる。飲食できる場所が大事だと思います。
議長 (根本会長)	ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。
櫻沢委員	交流人口を増やす観点から、空き家を活用し、農地付きの宿泊施設を考えられたらどうでしょうか。 町長が挨拶の中で土地を広範囲に保有することを考えられるというお話があって、私も広範囲に農地を購入して活用することは非常に大切だと思っています。その際に、何らかの形で購入にあたっての債券発行のようなことを考えられたら良いのではないのでしょうか。町内にお金を出資してくださる方もいらっしゃるのではないか、そういった方に事業に参画していただけるような仕組みを作られてはどうでしょうか。
事務局 (木村課長)	良いアイデアだと思います。債権、出資についてはランドブレインさんもお経験があるかもしれないので、活用できればと思います。
ランドブレイン (株)石村	農業、加工体験をやろうとした時、日帰りの方もいらっしゃるし、泊りや短期移住を検討した時、空き家を活用して宿泊できる仕組みが必要です。農家の方に協力いただいて農泊や民泊も制度上できるようになってきています。このように地域の中でできることを出していただければ、地域全体の活性化の可能性へと繋がると思います。

議長 (根本会長)	他の委員さんはいかがでしょう。
飯島委員	1 ページ目の図版、ここに出てくるデータが細かすぎて見るのが大変である。もう少し大きい資料が欲しい。 また、寄居町、深谷市なども含めた美里町の位置関係、自分の住んでいる地域との距離感など、もう少し広域的な視点で議論を進めていかなければ分かりづらい。
ランドブレイン (株)石村	広域的な視点について、今後検討を進める中で資料として出すことは可能です。今後は事前の資料提供もできればと考えています。
議長 (根本会長)	他にご意見はありますか。
関根委員	寄居スマートインターの周辺について、寄居町役場で施設を検討しているような話はあるのでしょうか。寄居町等と連携することはないのでしょうか。
事務局 (木村課長)	この事業は美里町独自の考えで今は進んでいます。スマートインターについては、近隣の市町村である寄居町、深谷市と一緒に作りましたが、今回の案件については美里町単独で作りたいと考えています。 実際に連携する部分で必要となれば声をかけることもあるかもしれませんが、しかし、今現在としては町として何とか生き残っていきたい、様々な機能を持たして皆さんに使ってもらえるような施設ができないかと検討しています。
関根委員	今はインターの下りだけ開通しているが、上りが開通した時に、寄居町や深谷市でいずれ何かを建てることはないのでしょうか。
事務局 (木村課長)	寄居町と深谷市では、スマートインターを契機に何かを作るという話は聞いていません。
議長 (根本会長)	本日は結論を求めるものではありませんので、ご意見出していただければ幸いです。
長谷川委員	まず、施設の主な機能については、町の特産品の販売、農産物直売所の延長になると思うが、美里の特色を出さなければ他の直売所と同じようなものになってしまいます。町の特色を出すなら、特産農産物、そば、旬の野菜、梅、原木栽培のしいたけ、ダチョウの加工品はどうか。竹細工製品はやっている人がいるかどうかわからないが、そういった工芸品もあります。また、特産品を使用した菓子などの商工品の販売等、美里町にある幅広いものを販売したらどうでしょうか。 次に町の伝統食のレストランです。20年近く前の料理研究家の方の本によると、現在は崩食の時代であるという。食が崩れている時代の中、日本の伝統的な食を大切にしなければならない。美里の食べるところと

して、町の伝統食のレストランを作ったらどうでしょうか。それと、体験加工室の併設もどうだろう。地場産の小麦や米、野菜を使った煮ぼうとう、つみっこなど。山梨のほうとう、秩父のおつきりこみ等々、かなり人気があるようです。美里では煮ぼうとうと料理を秋から春に、夏には冷や汁を各家庭で食べていました。夏の食欲のない時の冷や汁は最高のごちそうです。こういうものをメニューに入れてはどうでしょうか。そのほか、じり焼き、和風ピザのようなものをおやつに食べていました。こういったものはまだまだあると思うので取り入れてみるといいと思います。

次に、まちの自然と史跡の活用を挙げました。一番大きなものは里山です。今、町で里山再生に取り組んでおり、一緒にやりたい町民もいると思います。トトロの森や北本の癒しの森のようなことをやるのも面白いでしょう。竹林が里山を侵食してしまっているが、竹を退治するだけでなく利用する発想が必要だと思います。タケノコの活用や様々な竹細工を作るのはどうだろうか。その他に野鳥観察なども考えられます。

また、美里町には旧石器時代の展示品があり、これは関東でも数が少ない。遺跡の森の資料館を見たり、鎌倉街道の旧道や百八燈を歩いたりするのもいいだろう。あと、立派な蔵もあるので蔵めぐりツアーをやっても面白いのではないのでしょうか。子供や高齢者の学習の場の機能があっても面白いだろう。

また、カントリーライフという形で、都市住民にバーベキューなどの生活体験を共有すれば、定住促進への一つの効果になるのではないかと。団塊の世代の人たちも呼び込めると思います。

次に、災害時の防災機能です。インターが近いので東京が被害にあった際に多くの人々が逃げる可能性がある。一時的な避難場所として非常に大きな役割を果たせるのではないのでしょうか。

お米バンク、これは私の造語ですが、いつ災害が発生するかわからない状況でお米の備蓄が必要ではないかと思えます。都市の人は米を備蓄できない。そこで希望者には美里で備蓄してあげ、有事の時に供給できる体制を整えるのはどうかと思えます。

次に、町民や都市住民が気軽に立ち寄り、愛される施設であることが大事だと思います。市民農園や山桜の植栽した場所、春夏秋冬の花木園、フリーマーケット、野外コンサート、野外映画等はどうだろうか。

最後に、その他として今日の議題とは外れますが提案があります。

埼玉県は県産材の活用を図っています。補助金も出るので施設に使用してはどうでしょうか。また、多額の経費を使って作るのだから、単なる入札で業者を決めるのではなく、設計が重要だと思います。コンペで

	<p>良いものを募って欲しい。そして、もう一つ大事なのが運営主体です。誰が施設を運営するのか。今後の検討課題になると思います。</p> <p>さらに、来訪者にふるさと納税で事業費の一部をカンパしてもらうのも一つのアイデアだと思います。</p> <p>長くなりましたが私からの提案になります。</p>
ランドブレイン (株)石村	<p>とても参考になるアイデア、ありがとうございます。</p> <p>加工や体験と書いていたが、我々のイメージでは農産物が強かったが、ご提案いただいた竹林を活用した竹細工などの可能性もあれば、より発展的にそういった場にするとか、児童や高齢者の学習、憩いの場、ふれあいの場などの活用になると思います。</p> <p>災害時の防災機能については、国も道の駅など施設のありかたの検討をしている中で非常に重要な事項となっていますので、何かあった時の防災機能の準備をしておく必要があると思っています。また、施設だけでなく日常の防災活動や防災教育の場として活用できるのではないかと思います。</p>
茂木委員	<p>戸田市と美里町では姉妹提携を結んでいます。提携を結んでいる戸田市をターゲットにしていってはどうでしょうか。川場と世田谷区も姉妹都市の関係で、道の駅川場の中に、世田谷の施設があり、世田谷区民が多く利用しているとのこと。</p>
ランドブレイン (株)石村	<p>道の駅川場田園プラザも様々な加工ができるような場もあってとても賑わっています。戸田市からも様々な体験をするために美里町に姉妹都市として来てもらうなど、仕組みを作っていければより利用してもらえると思います。</p>
関根委員	<p>観光バスが停まれる大きな駐車場、女性向けにトイレを綺麗にする、観光でお金を落とさせていただく。農産物だけではなくこういったことも考えていただきたい。</p>
野沢委員	<p>拠点施設ができた場合、都会のかたが興味を持ち、美里へ来ていただいてそこから自転車で史跡めぐりをすることが考えられます。</p> <p>商工会でも町を知ってもらうため、ウォーキングを年に3～4回行っています。サイクリングを行うためには自転車専用道が必要になります。古墳や施設、パワースポット、美味しいものが食べられる場所、安全を考慮した中で町全体を観光地化する必要があると思います。</p>
議長 (根本会長)	<p>会長の立場であります。一委員として意見をさせていただきます。</p> <p>戸田との交流を通して思ったことですが、美里町には大人数で食事をする場所がありません。そのため、戸田の方を招く時には、特別に許可を得て施設を借りています。また、交流場所が山の方なので、大型バスが通れる道先回りして案内しています。</p>

	<p>本部の真東寺では、お寺住職が自費で四国お遍路のミニチュア版を作ったが、ご本人が亡くなってしまい、お客さんが少なくなってしまったようです。しかし、新潟の老夫婦が、四国には行けないが美里だったら行ける、と来られたことがありました。当時の住職が身銭を切って作られた立派なところがあります。そういったところをもっと活用して欲しい。陶芸についても、プロのような方がいて陶芸を教えていますので、活用して欲しいと思います。</p> <p>それから、私は個人的にブルーベリーを作っていますが、ジャムの加工は小鹿野町で行っています。加工賃が高く、売る値段の半分が加工代に持っていかれてしまいます。私は友人などにあげているのでやむ得ないと思っています。しかし、加工品を収入としたい方にとっては、町が加工場を作ってくれたら農家にもすごく良いことだと思います。このような点を含めて検討していただきたいです。</p> <p>他にございますか。</p>
上田委員	<p>えごまは生産が間に合っていないと聞きましたが、今後増えていくのでしょうか。また白石農場からこの計画に参加したいとお話がありましたので、ご検討いただきたいと思います。</p>
町長	<p>今、文化財保護審議会に町に点在している遺跡や遺構についてデータ化を依頼しています。データ化する中で、それらを巡るコースを作ることとは可能と考えています。</p> <p>えごまについては、円良田にある機械は3kgまでしか絞れません。新たに作る施設に町民向けのものを提供するのも一つの考え方だと思います。白石農場の古代豚についてはふるさと納税でかなり売れています。製造体験をやりたいという話も伺っていますので、町もタイアップして売れる仕掛けを一緒に考えていきたいと思っています。</p>
議長 (根本会長)	<p>J Aから田沼所長が出席していますが、いかがでしょうか。</p>
田沼委員	<p>J Aとしては高齢化が進んでいる中で、野菜の直売所の施設が大きな役割になってくると思います。もう少し具体的になってきたら、本店も含め話を進めていきたいと思っています。</p>
議長 (根本会長)	<p>他の委員の方はいかがでしょうか。</p>
関根委員	<p>えごまについては一つの名前、ブランドで売られているが、ブルーベリーは各お宅で様々です。ご自分のお宅で栽培して売っているという現状ではありますが、これからの考え方として、例えば加工所を作って一つのブランドとしてブルーベリーを売り出すのか、それとも各農家が持ち寄ってもらって売ることなのか、何か考えがあるのででしょうか。</p>

	<p>また、加工されている農家さんは何軒くらいあるのでしょうか。</p>
<p>事務局 (木村課長)</p>	<p>今、町ではブルーベリーの加工ができず、近隣の市町にお願いしている状況です。料金もかかります。今回の地域活性化施設の中にも加工施設を考えていますが、ブルーベリーに特化した加工施設を今回の計画に組み入れることは検討が必要です。</p> <p>事例の中で提案させていただいている加工施設は、味噌作りや漬物作りなど、来訪者が加工の体験ができる場所を事務局では想定していました。今後検討していく必要があると思います。</p> <p>ブルーベリーを扱っている方についてですが、ブルーベリー部会に入っている農家は80軒強おります。加工品を作っている農家数は20件ぐらいです。</p>
<p>町長</p>	<p>ブルーベリー農家の中でも、特別栽培の認証を取っている人いない人、肥料を上げている人いない人、様々です。こだわりを持って栽培している方は、1つのブランドとして売り出すのは容認できないのではないかと思います。1つのブランドとして売ると、安い方に合わせなければなりません。基本的には生産者の意向によって、また施設を実際に運営する方々とのタイアップでどうするか決まるのではないかと思います。</p>
<p>渋井委員</p>	<p>町長がおっしゃるとおり、栽培方法は農家によって異なります。長年やっているとこだわりがあるし味も違うので、同じ値段では売れません。お客さんは生産者の名前を見てブルーベリーを買っていますので、良いものを作らなければ売れません。</p>
<p>茂木委員</p>	<p>市場流通に乗れるような作り方をしている農家ならいいと思いますが、それぞれの農家の意識が違います。統一したラベルで売るならば、農家の意識改革が必要だと思います。それができなければ難しいかもしれません。</p>
<p>徳世委員</p>	<p>皆さんの言っていた通りだと思います。こだわりを持っている人は、よりこだわりを持って作っているので、一つのブランドとして売るのは難しいかもしれません。</p>
<p>関根委員</p>	<p>こだわりがあるからこそ、美里でしか買えないブルーベリーとして売り出していけるようになればと思います。</p>
<p>議長 (根本会長)</p>	<p>他にご意見ありますか。</p>
<p>茂木委員</p>	<p>美里町には観光地がありません。つい最近、嵐山町が「千年の苑」という10haのエリアにラベンダーを植えました。今年から大々的に売り出すこととなります。10年間その土地を借り入れてやっていて、農家の方も協力しています。去年あたりからラベンダーがきれいに咲くようになっていきます。農協と商工会と行政と中間管理機構と大手の組織が集</p>

	<p>まっって今年から売店も作っていくようです。私も4年通って見ているが、良いものができています。</p> <p>ぜひ、参考にしてほしい。観光地は自分たちで作れるので審議会の皆さん1人ひとりが力を出し合えば良いものができると思います。</p>
町長	<p>先ほどのブルーベリーの話ですが、もし地域活性化施設でブルーベリーの商品を作る時には、次の段階としてアイデア・企画を出していただき、良いものをみなさんと作っていきたいと思っています。先ほどの茂木委員の話もあわせて、地域活性化施設周辺の観光地づくりをしていけたら良いと思います。</p>
飯島委員	<p>中間管理機構の委員を務めさせていただいているので、話を聞いていますと農地の集約化などの具体的な話もできます。しかし、美里町の半分は山間部。地形上の難しさという面では、土地を貸したくても借りる人がいなくて苦戦しているのも事実です。そのことを念頭に置いたうえでアドバイスをいただきたい。</p>
長谷川委員	<p>今の中山間の話に関連して、美里町というのは南北に長い地形です。北部は田んぼ、八高線を境に南部は丘になっています。逆に言うと、それが美里の魅力であります。水田地帯があり、畑作地帯があり、山がある。里山が周辺を囲み、川もある。山あり谷あり林あり。大体のものがああります。そういった町の資源をトータルで活用しないといけない。</p> <p>そのほかに、ダチョウ農場では200羽ほど飼っていて見学もできるそうです。ダチョウの肉も非常にヘルシーだと聞きます。なかなか手に入らないので人気があるようです。また、イノシシやシカなど美里町では有害鳥獣と言われているものがジビエとして販売しているところもあるので、そういったものも併せて視野に入れたらいいと思います。</p>
議長 (根本会長)	<p>他にご意見ございますか。ないようですので、本日の意見聴取について事務局からございますか。</p>
事務局 (木村課長)	<p>本日いただいた意見を今後、どう計画に反映して具体化していくかについてですが、各団体のヒアリングや事業所などと話していければと思っています。</p> <p>様々な意見がもらえて非常によかったです。ありがとうございました。</p>
事務局 (飯島主任)	<p>配布資料について1点お伝えします。</p> <p>「地域住民による活性化事例について」とタイトルの資料をご用意させていただいております。これは他の自治体の事例をまとめたものです。町の活性化に向けた取組の参考資料としてご活用いただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
議長 (根本会長)	<p>本日の意見聴取について事務局から説明がありましたが、よろしいでしょうか。</p>

全委員	了承。
(2) その他	
議長 (根本会長)	その他、委員の皆さんから何かありますか。ないようですので、事務局から何かございますか。
事務局 (櫻沢主査)	<p>その他として2点お伝えします。</p> <p>まず1点目は、今後のスケジュールについてです。</p> <p>本日、皆さんからいただいた意見を持って、ランドブレインが町内外の民間事業者へのヒアリングを行います。このヒアリングでは、本事業への参画の可能性や協力・連携などを伺います。次回の会議ではヒアリング結果やその結果を受けて機能や取組内容の検討を行う予定です。日程については追って通知させていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>2つめは、今後の会議資料についてです。</p> <p>次回以降の資料は、基本的に、事前に配布します。本日本お渡ししたファイルに資料を綴っていただき、会議の際はご持参ください。また、それぞれの団体で意見集約等が必要でありましたら、送付する資料を基に、ご検討をお願いします。</p>
議長 (根本会長)	<p>その他、何かございますか。</p> <p>無いようでしたらこれにて、議長の役を終わります。</p> <p>ご協力ありがとうございました。事務局へお返しします。</p>
5. 閉会	
司会 (丸山副課長)	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会を小泉副会長お願いします。</p>
小泉副会長	以上をもって、第3回農業振興審議会を終了いたします。